

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< No.41 2011. 8. 7 > 連絡先 402-1622

核兵器のない 平和で公正な世界を

8月、被爆66年目の広島と長崎で原水爆禁止2011年世界大会が開かれます。

「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」という昨年5月、核不拡散条約（NPT）再検討会議の合意を受けた今年の世界世界大会は、その実行を求めて次のステップを踏み出す大会です。



3月11日、東日本を襲った巨大地震と津波、福島第一原発からの放射能の飛散。世界大会は、被災地の救援、復興の努力と連帯しながら、人々が協力し、安心して暮らせる世界を創るために、世界の平和運動、非同盟や非核地帯の政府、国連などの代表と日本の草の根の代表と一緒に行動を考えます。

国際会議、広島大会、長崎での総会とたくさんのテーマ別分科会、文化行事や若い世代の人たちの被爆者訪問など、どのプログラムも、主人公は一人ひとりのあなたです。

私も、6日から9日まで、和歌山県からの派遣団42名の一員として長崎に行ってまいります。（松坂みち子）

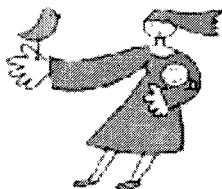
みち子のひとりごと 党創立89年目

7月15日、共産党が誕生して89年となりました。

私が共産党に入ったのは、「第二次世界大戦に反対したのは政党では共産党だけだった」という話を聞いたことがきっかけでした。当時子育て真っ最中だった私は、子どもたちが戦争に巻き込まれることは絶対にあつてはならない、戦争はいやだと強く思っていました。そんな時に、先の話を聞き、戦争反対なんて口に出してとても言えなかったころに反対を貫いていたということに、感銘を受けたからです。

実際入ってから、共産党は「ふつう」に暮らしている人たちの立場で政治を考え、困っている人がいれば放っておかない、庶民の味方で頑張っているところだと実感しました。そしていまは、その仕事の一端にでも参加できることが、ありがたいと感じています。

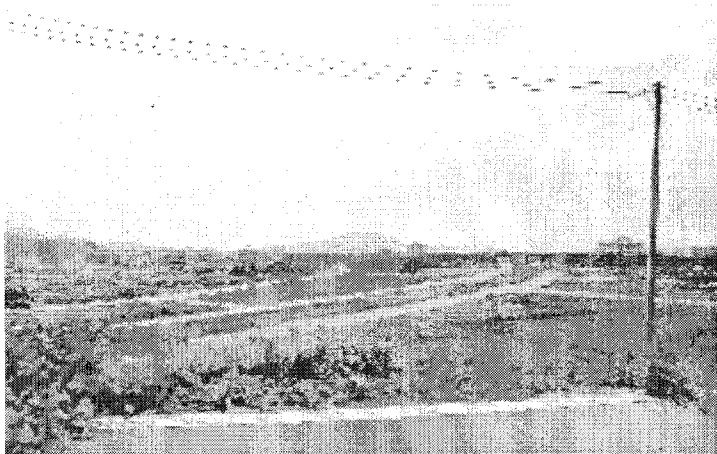
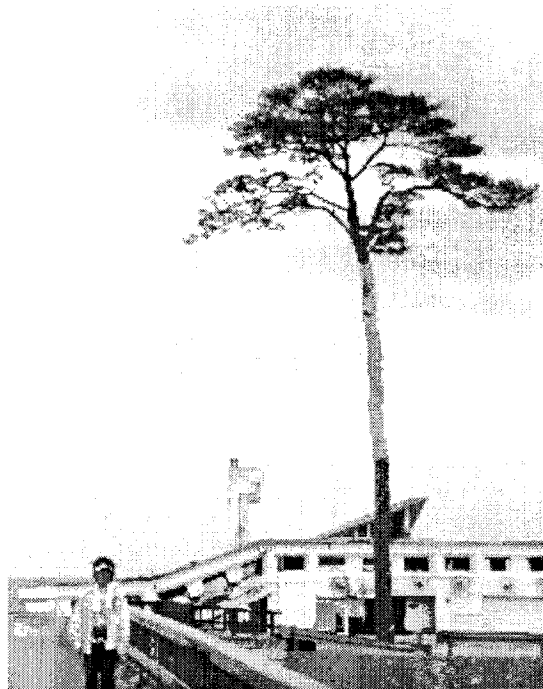
まだまだ経験不足の私ですが、共産党同様、今後ともよろしく願います。



東日本大震災

写真から

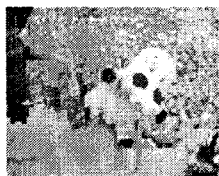
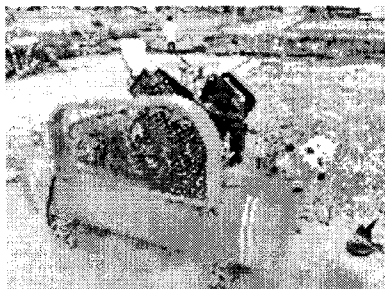
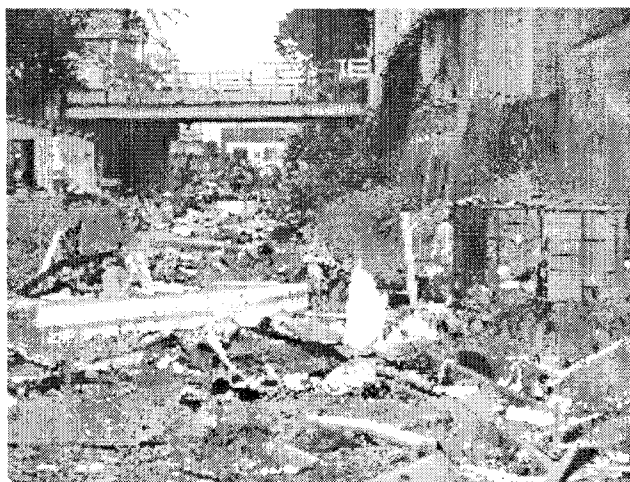
「奇跡の一本松」。7万本と言われていた松林が津波にさらわれ、1本だけ残った松。懸命に生きようとしている。壊れている建物は、ユースホステル。



がれきが片付けられ、道だけがくっきりと見える。地震の前には、家が立ち並び、道は見えなかったはず。遠くには、津波に襲われ残った建物が見える。

電車が通っていたところ。

折れ曲がったレールの上に、ガードレールなどがれきが積み重なっている。



誰がおいたのか、取り残された機械にぬいぐるみが置かれてあった。